

飼料作物

飼料作物

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
リゾクニア菌による病害(苗木枯病等)	播種前	・バシタック水和剤75 乾燥種子重量の0.4% 1回	種子処理機による種子粉衣
	播種前	・モンカット水和剤 種子重量の0.5~1.0% 1回	同上
ピシウム・リゾクニア菌による病害(苗木枯病等)	播種前	・オーソサイド水和剤80 種子重量の0.2~0.4% 1回	同上
フザリウム・リゾクニア菌による病害(立枯病等)	播種前	・チウラム80 2~5g/種子1kg 1回	同上

イネ科牧草^{*1} (飼料作物、牧草の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類、ヨコバイ類、ウカガ類、ウハムシモドキ、ゾウムシ類	収穫14日前まで	・スミチオン乳剤 1000~2000倍 100~300L/10a 2回以内	
アブラムシ類	収穫30日前まで	・モスピラン顆粒水溶剤 6000倍 100~300L/10a 3回以内	
ムギダニ、アワトウ	収穫14日前まで	・スミチオン乳剤 1000倍 100~300L/10a 2回以内	

*1: イネ科牧草…オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、トールフェスク、ペレニアルライグラス、バヒアグラス

マメ科牧草^{*2} (飼料作物、牧草の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類、ヨコバイ類、ウカガ類、ウハムシモドキ、ゾウムシ類	収穫14日前まで	・スミチオン乳剤 1000~2000倍 100~300L/10a 2回以内	
アブラムシ類	収穫90日前まで	・モスピラン顆粒水溶剤 6000倍 100~300L/10a 3回以内	
	収穫45日前まで	・オルトラン水和剤 1000倍 100~300L/10a 3回以内	
ムギダニ	収穫14日前まで	・スミチオン乳剤 1000倍 100~300L/10a 2回以内	

*2: マメ科牧草…赤クローバー、白クローバー、アルファルファ

飼料用エンバク (飼料作物、牧草の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コクモストモドキ	貯蔵前	・アグロスリン乳剤# 300倍 希釈液20mL/種子1kg 1回	# 播種用種子の登録種子に吹き付け処理
裸黒穂病	播種前	・シルバキュアフロアブル 600倍 希釈液30mL/種子1kg 1回	または塗沫処理

飼料作物

飼料用トウモロコシ(飼料作物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
すじ萎縮病	作付前	1. 耐病性品種を栽培する。 2. ヒメトビウンカの飛来最盛期(6月中～下旬)と幼苗期(8葉期まで)が一致しないよう、4月下旬までに播種する。	ホワイトデントコーンは特に弱い。 ヒメトビウンカが媒介する。
ごま葉枯病	作付前	1. 抵抗性品種を利用する。 2. 連作を避け、輪作を行う。	高温多湿が続くと多発する。
すす紋病	作付前	1. 抵抗性品種を利用する。 2. 連作を避け、輪作を行う。	
	収穫7日前まで	・チルト乳剤25 1000倍 100～300 L/10 a 2回以内	
アブラムシ類	収穫90日前まで	・モスピラン顆粒水溶剤 6000倍 100～300 L/10 a 3回以内	
	収穫30日前まで	・スミチオン乳剤 2000倍 100～300 L/10 a 2回以内	
アワノメイガ	収穫21日前まで	・パダンSG水溶剤 1000～1500倍 100～300 L/10 a 2回以内	
	収穫7日前まで	・トレボン乳剤*1 1000倍 100～300 L/10 a 4回以内	
	収穫前日まで	・フェニックス顆粒水和剤*1 2000～4000倍 100～300 L/10 a 2回以内 ・プレバゾンフロアブル5*1 2000～4000倍 100～300 L/10 a 3回以内 ・アクセルフロアブル*1 1000～2000倍 100～300 L/10 a 3回以内	
	発生初期ただし収穫前日まで	・ジャックポット顆粒水和剤 ・チューレックス顆粒水和剤 500～1000倍 100～300 L/10a	
アワヨトウ	収穫7日前まで	・トレボン乳剤*1 1000倍 ・トレボンEW*1 1000倍 100～300 L/10 a 4回以内	メヒシバ等に産卵するので、除草する。
オオタバコガ	収穫前日まで	・コテツフロアブル*1 2000倍 100～300 L/10 a 2回以内 ・プレバゾンフロアブル5*1 2000倍 100～300 L/10 a 3回以内 ・フェニックス顆粒水和剤*1 2000～4000倍 100～300 L/10 a 2回以内	

飼料作物

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
タマナヤガ	収穫60日前まで	・ダイアジノン粒剤5*1 6kg/10a 2回以内	
ツマジロクサヨトウ	発生初期但し収穫前日まで	・ジャックポット顆粒水和剤 ・チューレックス顆粒水和剤 500～1000倍 100～300L/10a ・デルフィン顆粒水和剤 500倍 100～300L/10a	
	収穫21日前まで	・パダンSG水溶剤 2000～4000倍 100～300L/10a 2回以内	
	収穫7日前まで	・トレボン乳剤*1 1000倍 100～300L/10a 4回以内	
	収穫前日まで	・フェニックス顆粒水和剤*1 2000～4000倍 100～300L/10a 2回以内 ・コテツフロアブル*1 2000倍 100～300L/10a 2回以内 ・プレバソンフロアブル5*1 2000～4000倍 100～300L/10a 3回以内 ・アクセルフロアブル*1 1000倍 100～300L/10a 3回以内	
ネキリムシ	出芽時	・ダイアジノン粒剤5*1 6kg/10a 1回(土壌表面散布)	
ハダニ類	収穫前日まで	・コテツフロアブル*1 2000倍 100～300L/10a 2回以内	
鳥害(カラス、ハト、キジ、スズメ、ムクドリ、キジバト)	播種前	・キヒゲンR-2フロアブル 原液20mL/乾燥種子1kg 1回	塗抹処理
	発芽期	・鳥追バルーン等を設置する。	1～2日毎に移動すると効果的

※ 食用のトウモロコシ<トウモロコシ、トウモロコシ(子実)、未成熟トウモロコシ及びヤングコーン>の登録農薬は使用できない。

*1: 飼料用トウモロコシ(子実)で登録 *2: 飼料用トウモロコシ(青刈り)で登録

ソルガム(飼料作物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
鳥害(カラス、ハト、キジ、スズメ、ムクドリ、キジバト)	播種前	・キヒゲンR-2フロアブル 原液20mL/乾燥種子1kg 1回	塗抹処理
アブラムシ類、ツマジロクサヨトウ	収穫30日前まで	・オルトラン水和剤 1000倍 100～300L/10a 3回以内	